

< 補導の意義と目的 >

非行少年やそのおそれのある少年、あるいは、いろいろな問題を一人で抱え込み、さまざまな理由で社会に順応できない少年たちに声をかけ、その行為や原因、動機などについて尋ね、場合によっては、関係機関に連絡するなど、少年たちの処遇に最も良いと考えられる措置を講じる。

< 補導での留意事項 >

- ・声かけの場所、タイミングなど対象少年の安全確保をする。
- ・一人で補導しないで、二人もしくは複数で行う。
- ・多人数で囲むなど威圧的にならない。
- ・一人の人格として尊重した対応をする。
- ・原則として、所持品検査や身体検査を行ってはいけない。
- ・事故防止のため、無理をしない。
- ・秘密の保持を心がける。

< 巡回活動を終えて >

保護者、学校、関係機関に連絡の必要性を感じた時は、声かけ、巡回の際の状況を速やかに伝え、連携を図る。

< 地域においては >

地域で少年と出会い、ふれあう中で「少年たちの行動に注意を払い、気にかけていたり心配したりしている大人もいる」といった視点で関わりを持つ。



警察関係

岡山少年サポートセンター	223-7069
岡山中央警察署	270-0110
岡山東警察署	943-4110
岡山西警察署	254-0110
岡山南警察署	245-0110
岡山北警察署	(0867)24-0110
赤磐警察署	(086)952-0110

電話番号

相談関係機関

岡山市こども総合相談所	803-2525
地域こども相談センター (岡山市各福祉事務所内)	
北区中央	803-1824
北区北	251-6521
中区	901-1234
東区	944-0131
南区西	281-9652
南区南	261-7127

電話番号

声かけ・補導 マニュアル



地域子育て支援課 岡山市青少年育成協議会

TEL : 086-803-1609 FAX : 086-801-9456
086-801-9455
E-mail : seishounen@city.okayama.lg.jp

子どもたちが温かく見守られていると感じられる声かけをしましょう!!

最初の呼びかけ

「おはよう」

「こんにちは」

「こんばんは」

「どうしたの」

声かけ例

子どもと目が合った

「あっ、ごめんな 何歳かなーと思うて」
「小学生？ 中学生？ 高校生？」
「おじさん 巡回補導で回っとなじゃあ」

2人乗りはおえんよ
あぶねえから 降りられえ



1人~2人

「あれー タバコちょっと 早えんじゃあねんかー」
「ちょっと 若こう見えるけど」

喫煙

大勢の場合

「ありゃあ タバコが見えたけど」「タバコ消そうで」
(抑止力にはなった。あまり深入りしない)



登校する気がある

「気をつけてえ 行かれえよお」

遅刻

できればさぼりたい

「何時間目に間に合うかなあ？」

1人~2人

「今日は体調、悪りいんかあ」

怠学

大勢の場合

「今日、学校休み？ 振り替え？」

あれー、ちょっとタバコ
早えんじゃあねえんかあ



徘徊

「どーおしたん？」「何かあったん？」
「何処へ行きよおん」
「ちょっと気になったんで、声かけたんじゃけど」
(相手に聞こえる程度の声で)

下校途中

「遅そうならん内に 帰(ら)れえよ」
「気をつけて 帰(ら)れ」



下校途中話し込んでいる

「もう遅いから 帰らんといけんよ」
「気をつけて 帰(ら)れえよ」

<声かけのポイント>

○発見のポイント

服装、態度、グループ、言葉遣い、持ち物、時間、場所、年齢など

○呼びかけ

タイミングよく、自然な態度で、「こんにちは」の挨拶や、相手にふさわしい親しみのある言葉をかける。

○話の聞き方

こちらの身分を明らかにし、寄り添う姿勢で目線を合わせるなどして、相手に安心感を持たせる。

相手の言い分をよく聞き、冷静に対応する。

○注意のしかた

人目の多い場所では、大きな声で叱りつけたり、身体的欠点などをはずかしめる言動は避ける。内容によっては、毅然とした態度で臨む。

○別れ際

・お互い笑顔で

「しっかり勉強してね」「仕事がんばって」など、励ましの言葉をかけたり、「時間をとらせて悪かったね」と親しみのある言葉で別れる。

・納得させて

なぜ声をかけられたのか、自分自身に気づかせ、大人も心配をして声をかけたという思いを感じさせる別れ方をする。